

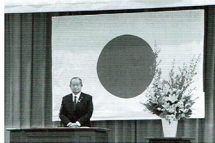


森高康行三通信

四国中央市選出(旧土居町・新宮村・伊予三島市・川の江市)

信頼
感謝
誇り

創立120周年記念



土居高120周年記念式典

◆自民党県連の再編強化の一步
新型コロナウイルス感染症下、令和四年の新年を迎えました。とにかく日常が変化して、公式行事の自粛や延期も多く、人と会えない、食事は黙食、飲酒は出来れば止むとの空気が支配しており、制限の息苦しさ、虚しさや悲しみを実感する場面が多くなりました。しかし、実際にコロナに罹患してしまおうと行動制限下になり、シトラスリボン運動に込められた願いも虚しく、差別や偏見に曝された現実もあり、手洗い、うがい、検温などの基本に立ち返り、ウィルスを持ち込まない基本行動を徹底するしかないと思います。互

自民党県連総務会長 3度自就任 ウクライナ戦争と我が国を考えよう

◆二ヶ年の県監査委員として
去る一月県議会本会議において任解かれ、後任が選任されました。大阪出張もなく、急にコロナ禍で予定変更も多く、大変な二ヶ年でした。しかし、県議としての二十五年を復習しながら、あるべき県政の姿を提言する機会も多く、充実した務めでした。地方自治法の改正により、行政の内部統制という新しい取り組みを確認し、よい姿を求めたくべく、現場訪問して、具体的な取組みを促して参りました。県民の幸せづくりの為、不断の

改革を求めて提言の多くを残させて頂きました。県民の県民による県民の為の県政という、故加戸知事の提唱した理念こそ必要に思われます。
◆ウクライナ侵略戦争は何が問われる
驚きました。二十一世紀にこのような侵略戦争がロシアによって起こされるのは、先の大戦後の国際秩序が破られ、実態的には第三次世界大戦の様相を呈しております。
八年前に黒海の北上、クリミア半島をサイバー先制攻撃により圧倒的に奪い取り、今回は、ロシア系住民の保護を旗印に国内情報統制制で、短期決戦を見込んでウクライナ国そのものの侵略に臨んだものの、今現在一四月一日に戦線は硬直し、ゼレンスキー大統領のPRが功を奏し、ロシア対西側諸国の戦争になりつつあります。
存在に於いても、国連や国際司法裁判所の存在や決定がロシアの反対や無視によって、かくも戦いものかとの無力感を実感したのは私だけでしょうか？
人程のウクライナで、国を脱出して難民となる方は四百万人とも言われており、戦える男子は残飯しての極めて厳しい状況です。脱出がかなわない大規模避難に曝されています。この時代に、人道的危機がなされているのです。ウクライナ住民もロシア兵も大量に命を落とすという日々であり、予断を許しません。
しかし、専門家と称するコメンテーターの当初の見通しとは異なり、ウクライナ人は頑張っています。更にロシア国内でも反戦平和の声が勇氣ある動きと増えていきます。
愛媛県議会では、二月議会開会中の3月2日、全会一致で「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」を採択して内外に宣言しました。私自身、東温市の坊っちゃん劇場と共にロシアオレンブルグ州との交流に関わったり、ロシア訪問の度に、松山の日露戦争時のロシア兵墓地についての資料を配付して友好を目指してきた事も決議に組み込みました。
一日も早くこの侵略戦争が終わることを願います。

◆今後を展望して
母校土居高創立一二〇周年記念事業は、三面に詳しく掲載しましたが、多くの皆様の協力が成功いたしました。内外共に大変な激動の中、我が国であり方を、世界と日本を見通して考え参りましよう。ウクライナ問題が明日の我が身とならない為、
四月一日記



自民党県連総務会長
愛媛県立土居高校同窓会長
愛媛県県連副会長
愛媛県県連副会長
愛媛県市民の会会長 他

もりたか康行の主な役職

自民党県連総務会長
愛媛県立土居高校同窓会長
愛媛県県連副会長
愛媛県県連副会長
愛媛県市民の会会長 他

